

## 前期第3回

# 心を育てる母と子供の論語教室

## —やさしく強い子供を育てるために—

平成30年11月25日(日)

講師：佐野日本大学短期大学非常勤講師

國分論語塾塾長 こくぶん さぶろう 國分 三郎 氏

論語は、孔子とそのお弟子さんが話し合った内容や行動などを書いた書物で、2500年の歴史があり、この間、その時代にあった解釈がなされて来ました。今日では、忠君愛国や男尊女卑といった解釈は通用せず、民主主義の時代に相応しい解釈がなされています。戦後、論語は廃れてしまいましたが、近年倫理道德の喪失が強く認識されて、再び見直されるようになりました。論語の学習法の一つに「素読」があり、素読は口と目と耳の三器官をフルに活用するため、大脳全体が活性化し記憶能力が向上します。今日、脳科学からも幼少期における優れた学習法として認められており、又高齢者の認知症を防ぐための学習方法としても認識されております。ゆえに、子供だけでなく、母親もいっしょに学ぶ事が必要ではないかと考えます。



### ○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・とてもわかりやすかったので、自分も試そうと思うことができました。
- ・せつかくの良い話をもっと若い層にも興味をもって聞いてほしいので、集客（の方法）を考えてほしい。
- ・初めて佐野市民大学の講座に参加しました。子育てと仕事の両立でめまぐるしい毎日です。今一番大切な幼児期を自分は上手に時間を使っているかと確認したく参加してみました。公民館でやられているということでぜひ参加してみたいと思いました。